

天文学とプラネタリウム

第114回



今月のお題

12月、六本木ヒルズでアイソン彗星観察会開催!

一校に1枚宇宙図プロジェクト 実現へ



全国の小中高校に宇宙図をお届けする「一校に1枚宇宙図プロジェクト」。クラウドファンディングで実現に向けて動き出しました。



www.tenpla.net

高梨直純 (東京大学)

平松正顕 (国立天文台チリ観測所)

先月のこのコラムにて、「一校に1枚宇宙図プロジェクト」をご紹介しました。美術家の小阪淳さん、天プラのコアメンバーや多くの天文研究者からなる制作委員会が作った「一校に1枚宇宙図 2013」を、全国のすべての小中高校と科学館・博物館あわせて 41,257 団体に配布するというプロジェクトです。このための資金は、日本でも広がりを見せているクラウドファンディング（プロジェクトに賛同する不特定多数の方から、インターネットを経由して資金を募るシステム）を活用して集めることにしました。クラウドファンディングのためのウェブサイト「READYFOR?」にプロジェクトを登録し、いざスタートです。

単にプロジェクトを登録しても、なかなか賛同者は集まりません。もっとたくさんの人に宇宙図を知っていただくために、宇宙図を軸としたトークイベントを数多く開催することにしました。宇宙図の製作に関わった小阪さんと天プラのメンバーや研究者が、宇宙図の中に広がる豊かな宇宙について参加者の皆さんと語り合いました。東大本郷キャンパスで、世田谷の古民

家で、六本木ヒルズで、郡山で、仙台で。テーマも太陽系外惑星から惑星の形成、宇宙の大規模構造まで多岐にわたります。宇宙図には天文学が明らかにしてきたさまざまな宇宙の姿が詰め込まれていますが、紙幅の関係から個々のテーマについてはその片鱗をご紹介するにとどまっています。宇宙図はあくまでもきっかけであり、個々のテーマの関係性を示すもの。トークを通して宇宙図の新しい見方を見つけ、宇宙図に触れる機会をたくさんの子供たちに持ってほしいという願いを共有できたと思います。

クラウドファンディングのほうは最初の2週間ほどは低調でしたが、イベントを通して、また様々な方面に告知をすることで次第に軌道に乗ってきました。大口の支援もあり、期限 10 日前に目標金額 140 万円を達成、期限の 9 月 15 日までに 75 名の方から 164 万円あまりをご支援いただくことができました。ご支援いただいた皆様にはこの場を借りてお礼申し上げます。READYFOR に寄せられた「2007 年版をトイレに貼って今でも見ている」「濃くて楽しい宇宙図がたくさんの人の手元に届きますように」等のたくさんのコメントに、製作者一同力をいただ



世田谷の古民家「岡さんのいえ」でのトークイベント。障子に投影される宇宙138億年の歴史。

きました。

資金調達ができただけで、宇宙図 2013 は 4 万部超の印刷へと進みます。A1 サイズのポスターになった宇宙図は、日本科学技術振興機構 (JST) が発行する科学冊子「サイエンス・ウィンドウ」誌に同封され、全国の学校や博物館に届けられます。願わくば、学校に届いた宇宙図がもれなく理科室や廊下の掲示板に貼られ、多くの子供たちの目に留まりますように。そして人類が明らかにしてきた宇宙の豊かさを、宇宙と人間のつながりを、多くの人が心に留めてくれますように。